

本資料の内容を無断で転載することを禁じます

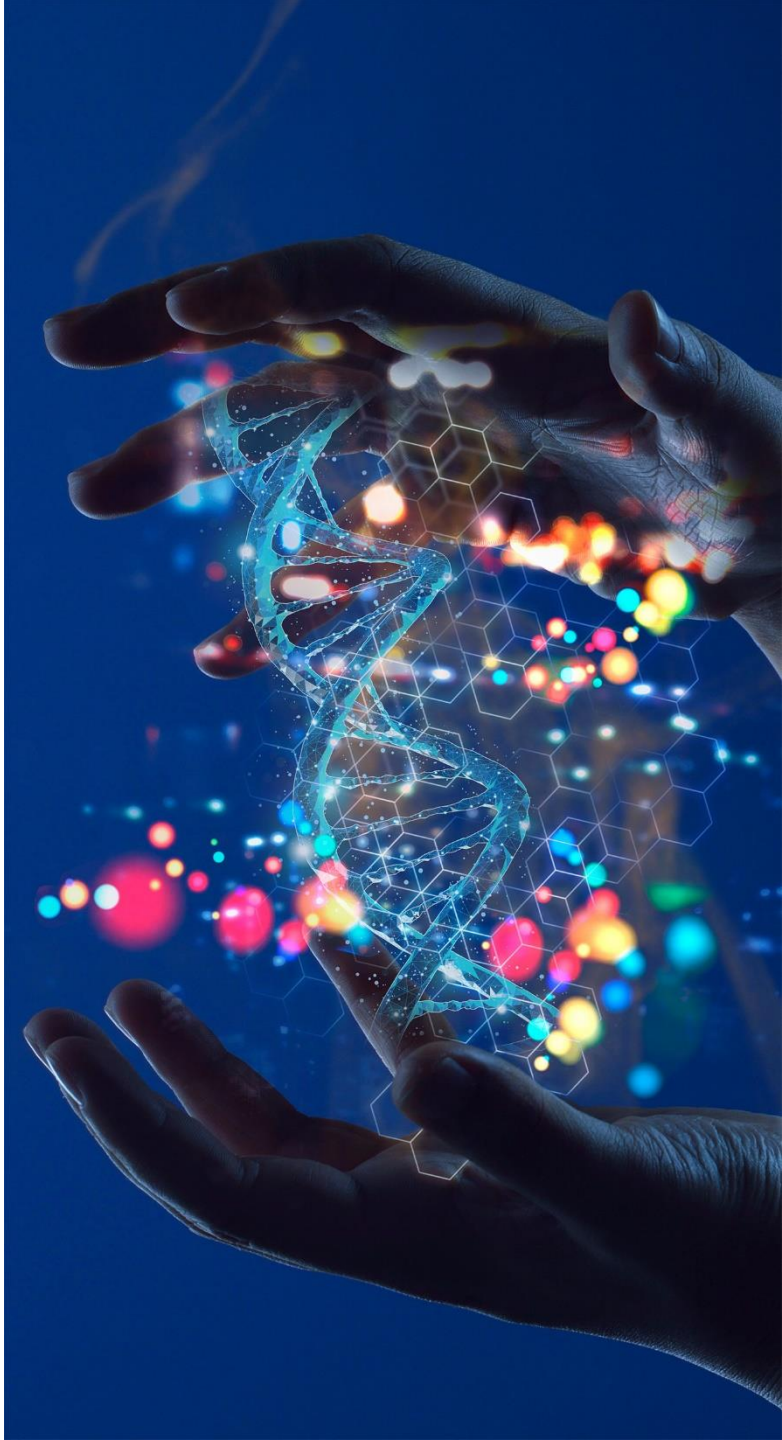
患者さんが必要とする最新情報を届けるために ー製薬企業の視点よりー

竹本信也

日本製薬工業協会（製薬協）PV部会 TF1
（中外製薬株式会社 セイフティサイエンス第二部 部長）

第27回医薬品情報学会学術集会・総会

2025年7月6日





利益相反開示

演題名： 患者さんが必要とする最新情報を届けるために
ー製薬企業の視点よりー

所 属： 日本製薬工業協会(製薬協) 医薬品評価委員会 PV部会TF1
(中外製薬株式会社 セイフティサイエンス第二部 部長)

発表者： 竹本信也

本演題発表に関連して開示すべきCOI(Conflict of Interest)に関する情報はありません。

本発表内容は、発表者の個人的見解を示したものであり、日本製薬工業協会または中外製薬の正式見解を示すものではありません。

CONTENTS

1. 患者さんによる医薬品情報へのアクセス
2. 生成AIと検索エンジン
3. プラットフォーム
4. まとめと今後に向けて

CONTENTS

1. 患者さんによる医薬品情報へのアクセス

2. 生成AIと検索エンジン

3. プラットフォーム

4. まとめと今後に向けて

目指したい世界

医療関係者、患者さんのいずれもが、必要な時に必要な最新情報へアクセス出来る仕組みを実現したい！



①医療関係者が
必要な最新資材へ容易にアクセスできる

②患者さんが
必要な最新資材へ容易にアクセスできる

はじめに

皆さんが患者さんと仮定します。
自分自身の薬の情報を調べるために、WEB検索した場面を想像してください。
以下のどのサイトを見ようと思いますか？

1. 検索上位のサイトをまずは見る
(上位3件などから参照)

2. 検索上位で信頼できそうなサイトをまずは見る
(知っている団体サイト、公的なサイト)

3. 検索の下位まですべて見たうえで、必要な情報がないか確認する (検索3ページ以降も確認)

Google エンスプリング 感染症

PLUS CHUGAI
https://chugai-pharm.jp/product/ens/sc_a/disease1
エンスプリング皮下注120mgシリンジ (感染症 (重大な副作用))
エンスプリング (サトラリズマブ (遺伝子組換え)) のIL-6阻害作用により、免疫機能が低下し感染症を発現する可能性があります。また、IL-6は急性期反応 (発熱、CRP増加等) を ...

医薬品医療機器情報提供ホームページ
https://www.info.pmda.go.jp/download/GUI PDF
エンスプリング皮下注 120mg シリンジ
2024/05/26 — この薬は、感染症にかかったときの、反応である発熱やCRP (炎症や感染の指標) 増加を抑えることがあります。感染症を早期に発見するため、血液検査や胸部 X ...

nmosd-online.jp
https://nmosd-online.jp/patients/sideeffect
エンスプリングの副作用 - 視神経髄炎 (NMOSD) Online
2021/09/01 — エンスプリング投与中であることをお伝えください。感染症: エンスプリングは病気に対する抵抗力を弱める可能性があります。通常、感染症にかかる ...

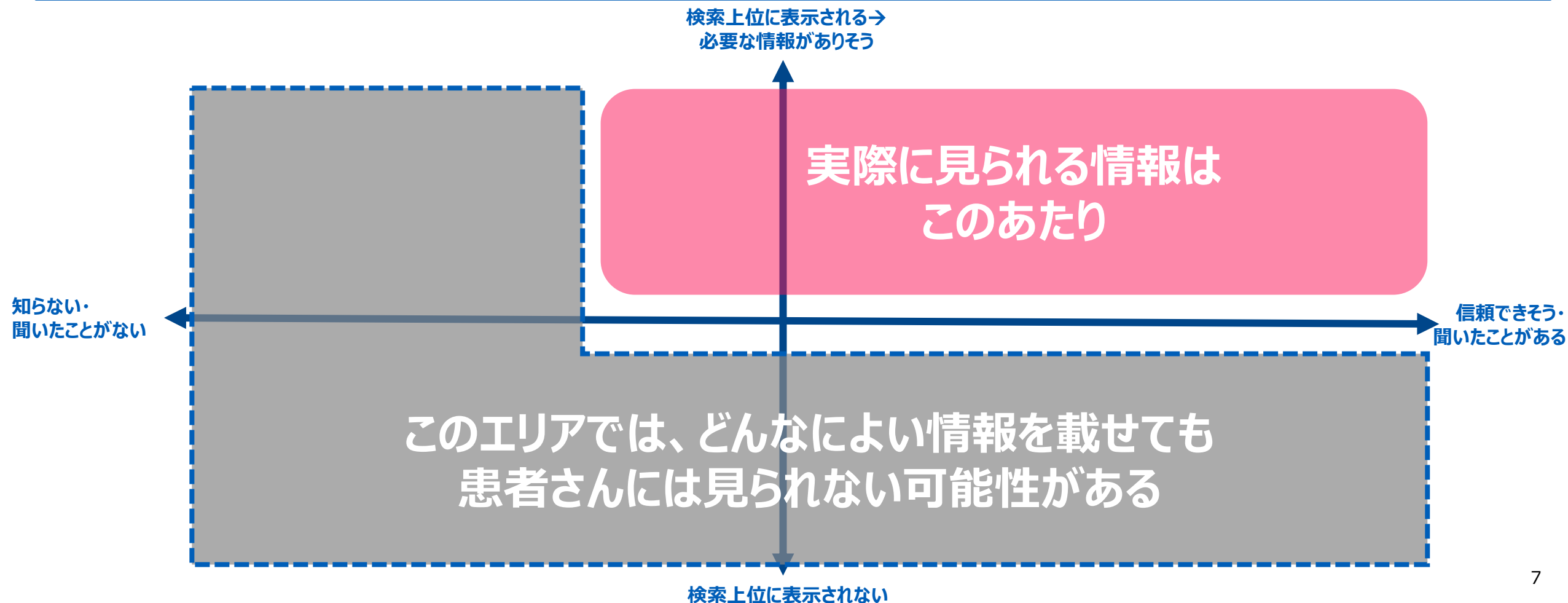
くすりの適正使用協議会
https://www.rad-ar.or.jp/siori/search/result
エンスプリング皮下注120mgシリンジ | くすりのしおり : 患者向け ...
この薬を使ったあと気をつけていただくこと (副作用) : 発熱、寒気、体がだるい[感染症] : 全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、めまい、動悸、息苦しい、冷汗が ...

MSキャンビン
https://www.msclinic.org/nmosd/nmosdenspring
エンスプリング - 視神経髄炎 (NMOSD) の治療薬
副作用として感染症、過敏症、血球減少などが報告されています。●感染症エンスプリング®の治療中に、敗血症や肺炎などの重篤な感染症が起こることがあります。また、感染 ...

ポジショニングマップ（患者さんへの情報提供元） web検索時

実際に見られるのは、検索上位にある＆信頼できそうなサイトではないか（仮説）

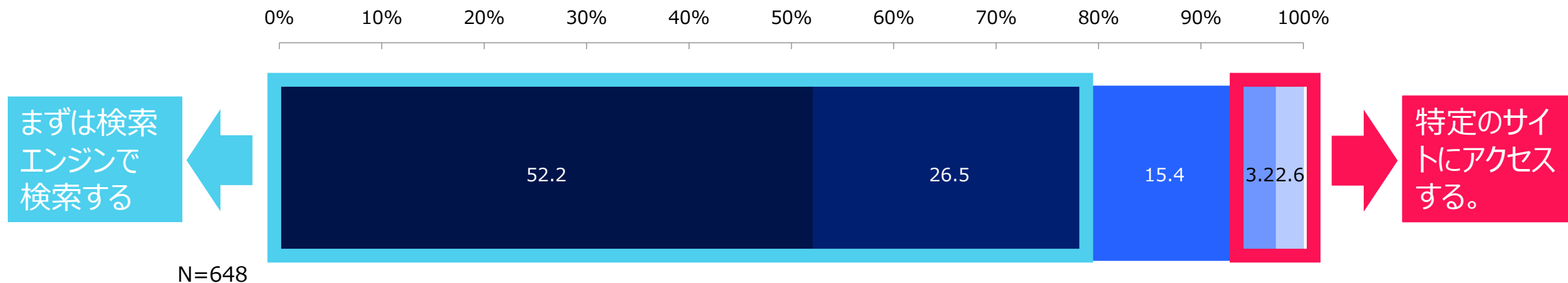
→どこにどの情報源が位置づけられるかを知り、必要なアクションを取り患者さんに必要な情報が届く体制を作っていきたい



インターネットで薬について検索する際のアクション1

患者さんの約8割は、必要情報はGOOGLEやYAHOOなどの検索エンジンで検索している

「A:検索エンジンの利用」計*が79%、「B:特定サイトへのアクセス」計*が6%



※回答ベース：
処方されたお薬について自分
で調べたことがある人

■ Aがほとんど (A80~100%/Bが0~20%)
■ A、Bともに同程度 (A40~60%/B40~60%)
■ Bがほとんど (Aが0~20%/B80~100%)

■ どちらかというとAが多い (Aが60~80%/Bが20~40%)
■ どちらかというとBが多い (Aが20~40%/Bが60~80%)

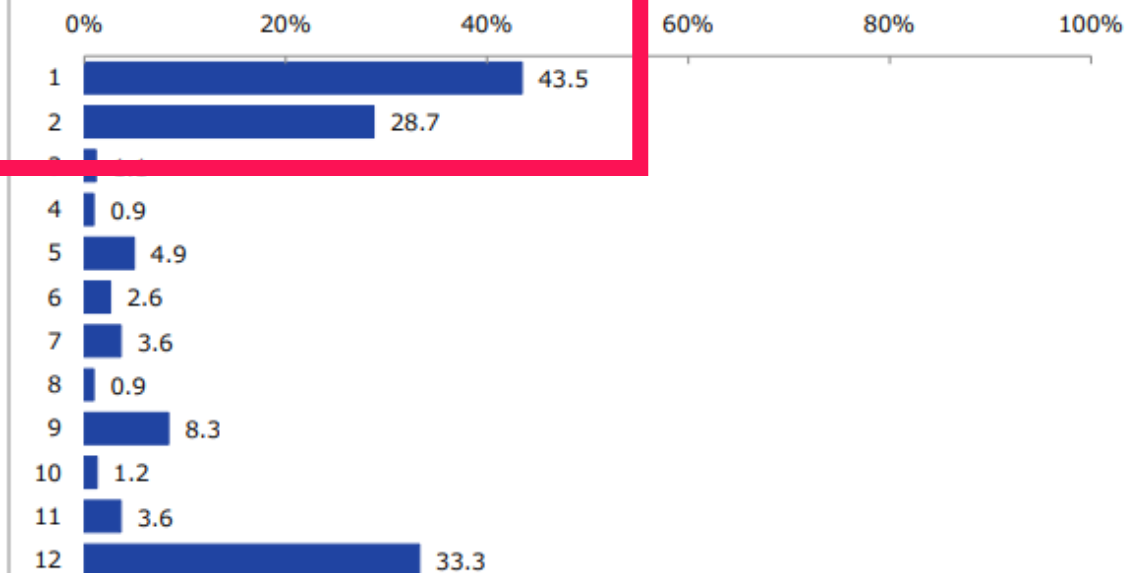
*「A：検索エンジンの利用」計：
「Aがほとんど」+「どちらかというとAが多い」の合計
*「B：特定サイトへのアクセス」計：
「Bがほとんど」+「どちらかというとBが多い」の合計

Q5. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身がインターネットで調べるときに、一番最初のアクションとしては「A.検索エンジンの利用」と「B.特定サイトへのアクセス」のどちらが多いですか。あなたの行動に最もあてはまるものをお知らせください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

インターネットで薬について検索する際のアクション2

検索した際の手法は、GOOGLEが43.5%、Yahooが28.7%と多く、ChatGPTなどの生成AIの活用は0.9%であった（2024年2月時点）

	n	%
全体	971	100.0
1 Google	422	43.5
2 Yahoo!	279	28.7
3 Bing	11	1.1
4 AIチャットボット（Chat GPTなど）	9	0.9
5 検索ツール以外の特定のサイト	48	4.9
6 Instagram	25	2.6
7 X（旧Twitter）	35	3.6
8 TikTok	9	0.9
9 YouTube	81	8.3
10 Facebook	12	1.2
11 その他	35	3.6
12 調べたことはない	323	33.3



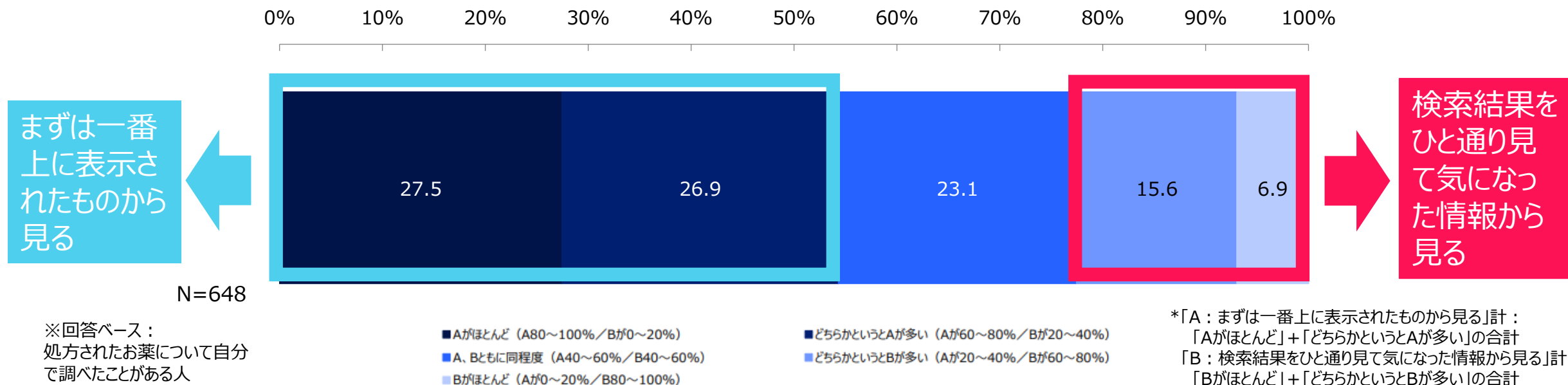
Q3.（あなたご自身）又は（現在あなたと同居中のご家族）*が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身で調べたことはありますか。
調べるときに使ったことがある検索ツールやアプリについて、あてはまるものをすべてお知らせください。（いくつでも） 【該当疾患】（選択された疾患名）*

*割付に応じて表示

インターネットで薬について検索する際のアクション3

患者さんの半分以上は、検索結果の上位から見ている

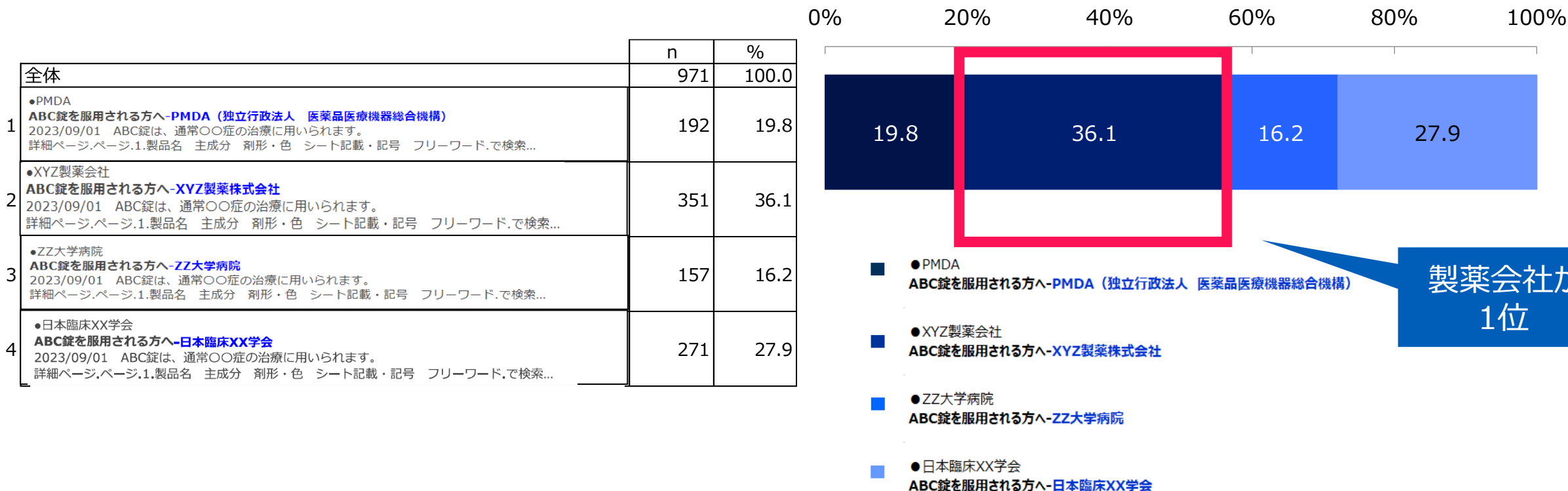
「A:まずは一番上に表示されたものから見る」計*が54%、「B:検索結果をひと通り見て気になった情報から見る」計*が23%で、検索結果については「まずは一番上に表示されたものから見る」方が多かった。



Q7. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身が調べるために、インターネットの「検索エンジンを利用」して出てきた検索結果から情報を見ていくとき、「A.まずは一番上に表示されたものから見る」と「B.検索結果をひと通り見て気になった情報から見る」のどちらが多いですか。あなたの行動に最もあてはまるものをお知らせください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択①

患者さんのうち、文章が同じ場合は製薬企業のサイトをクリックする割合が最も高かった
得られる情報が同じで情報の発信元だけが異なる場合に選ばれたのは、「XYZ製薬会社」が36.1%で、次いで「日本臨床XX学会」27.9%



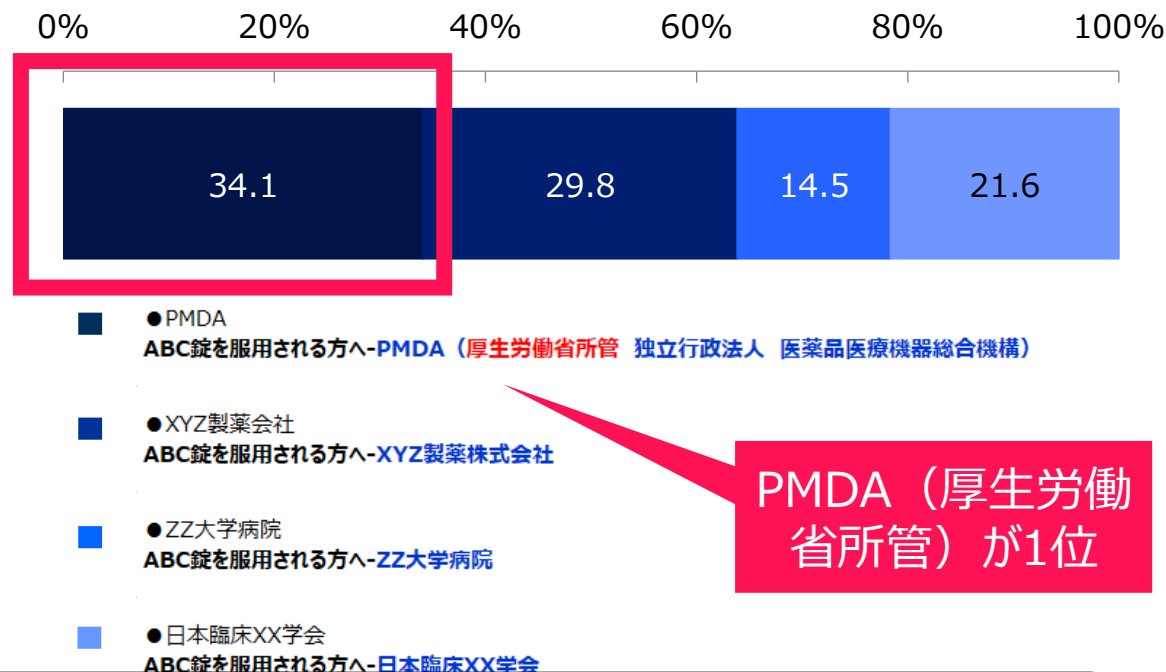
Q8.（あなたご自身）又は（現在あなたと同居中のご家族）＊が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬（ABC錠：製造販売元 XYZ製薬株式会社とします）について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下の結果が表示されました。情報のタイトルやクリックした先の情報がどれも同じで、情報の発信元だけが異なる場合、あなたはどれを選ぶと思いますか。
最もあてはまるものをお知らせください。※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。 【該当疾患】（選択された疾患名）＊ ＊割付に応じて表示

検索結果からの選択②

PMDAに「厚生労働省所管」の文字を入れるとアクセスが1.5倍に増え1位になった

【選択肢の1つである、PMDAの表記を「PMDA（厚生労働省所管 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）」に変更後】
最初に閲覧する情報として、最も多く選ばれたのはPMDA(34%)で、次いで製薬会社(30%)→学会→医療機関の順であった。

	n	%
全体	971	100.0
1 ●PMDA ABC錠を服用される方へ-PMDA（厚生労働省所管 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構） 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	331	34.1
2 ●XYZ製薬会社 ABC錠を服用される方へ-XYZ製薬株式会社 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	289	29.8
3 ●ZZ大学病院 ABC錠を服用される方へ-ZZ大学病院 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	141	14.5
4 ●日本臨床XX学会 ABC錠を服用される方へ-日本臨床XX学会 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	210	21.6



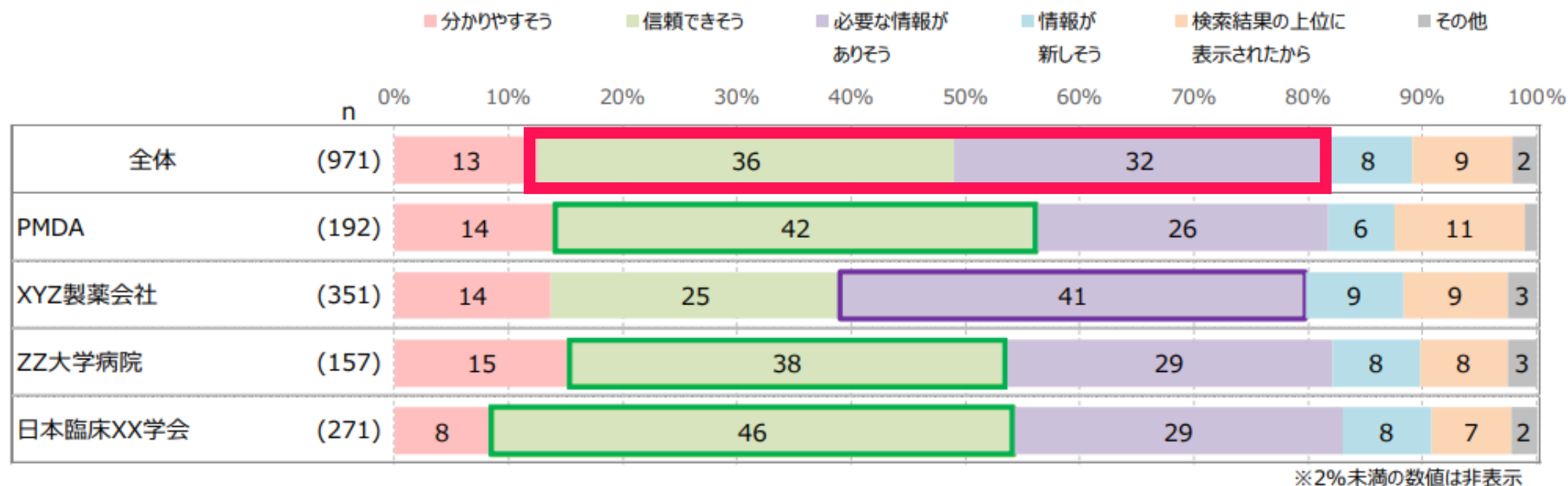
Q10.（あなたご自身）又は（現在あなたと同居中のご家族）*が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬（ABC錠：製造販売元 XYZ製薬株式会社とします）について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下の結果が表示されました。情報のタイトルやクリックした先の情報がどれも同じで、情報の発信元だけが異なる場合、あなたはどれを選ぶと思いますか。最もあてはまるものをお知らせください。

※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。※Q8とは異なり、下記のPMDAという組織の説明が一部変更されています。

【該当疾患】（選択された疾患名）* *割付に応じて表示

患者さんの医薬品情報入手時のインターネット情報の選択基準

サイトの選択基準は、「信頼できそう」が36%「必要な情報がありそう」が32%と全体の7割
内訳で見ると、“XYZ製薬会社”では「必要な情報がありそう」が42% それ以外では「信頼できそう」が最も高かった。



Q9. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠：製造販売元 XYZ製薬株式会社とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下のように表示された内容を最も選ぶと思うとお答えになりましたが、その理由として最もあてはまるものをお知らせください。

【該当疾患】(選択された疾患名) *

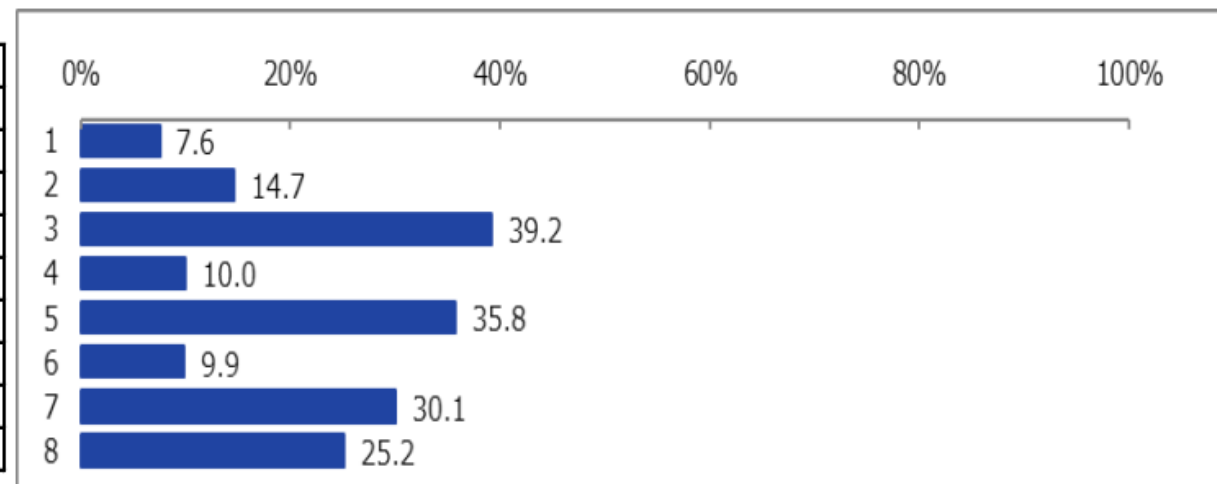
【表示された内容から最も選ぶと思う】(Q8 で選択した内容が表示)

*割付に応じて表示

特定サイトへのアクセスの有無

アクセスしたことがあるサイトは、「製薬会社のウェブサイト」が39%で最も高く、次いで「医療機関のウェブサイト」が35.8%、「患者さん向けの医療情報サイト」が30.1%と続いた。

	n	%
全体	648	100.0
1 PMDA（医薬品医療機器総合機構）のウェブサイト	49	7.6
2 くすりの適正使用協議会（くすりのしおり）のウェブサイト	95	14.7
3 製薬会社のウェブサイト	254	39.2
4 学会サイト	65	10.0
5 医療機関（病院、クリニック、薬局）のウェブサイト	232	35.8
6 患者会のウェブサイト	64	9.9
7 患者さん向けの医療情報サイト（Qlife、おくすり110番、メドレーなど）	195	30.1
8 上記でアクセスしたことがあるウェブサイトはない	163	25.2

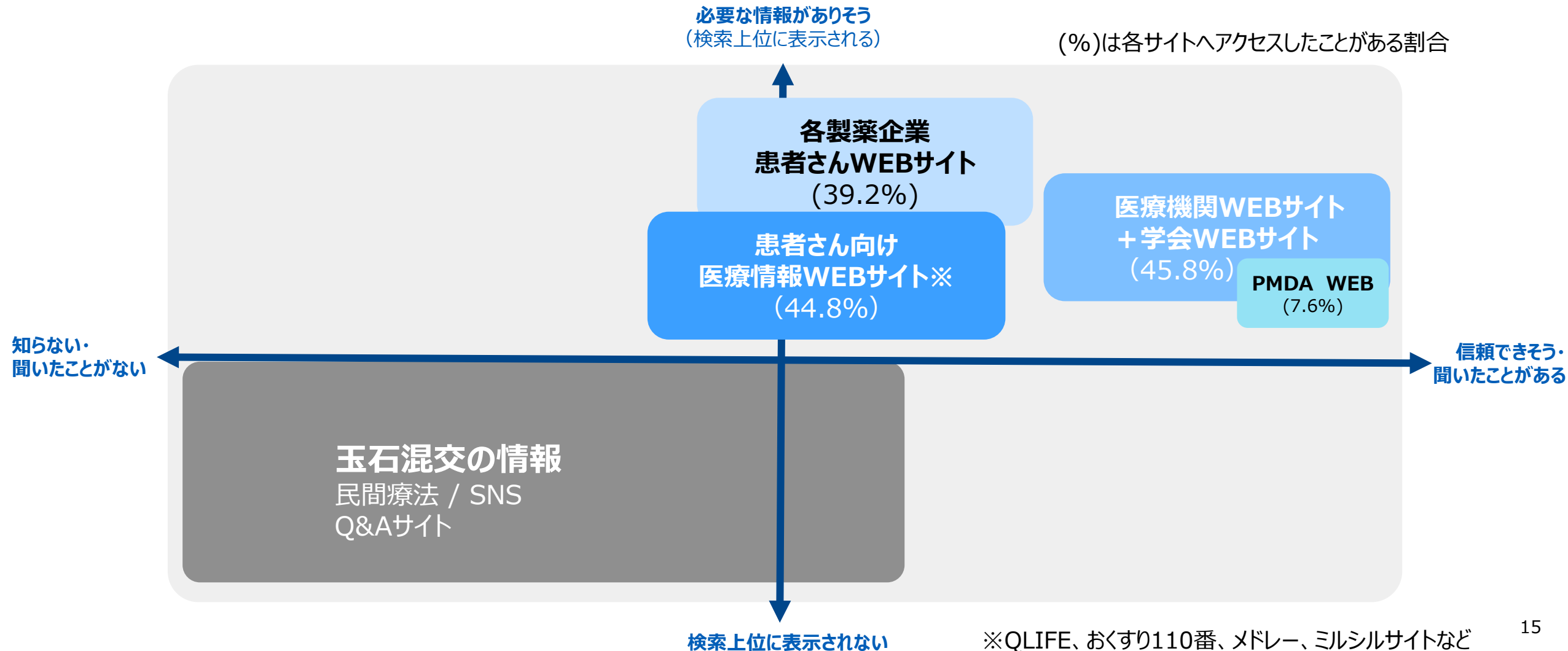


※回答ベース：
処方されたお薬について自分
で調べたことがある人

Q6.（あなたご自身）又は（現在あなたと同居中のご家族）*が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身がインターネットで調べるときに以下のようなサイトに今までアクセスしたことがありますか。アクセスしたことがあるサイトをすべてお知らせください。（いくつでも） 【該当疾患】（選択された疾患名）* *割付に応じて表示

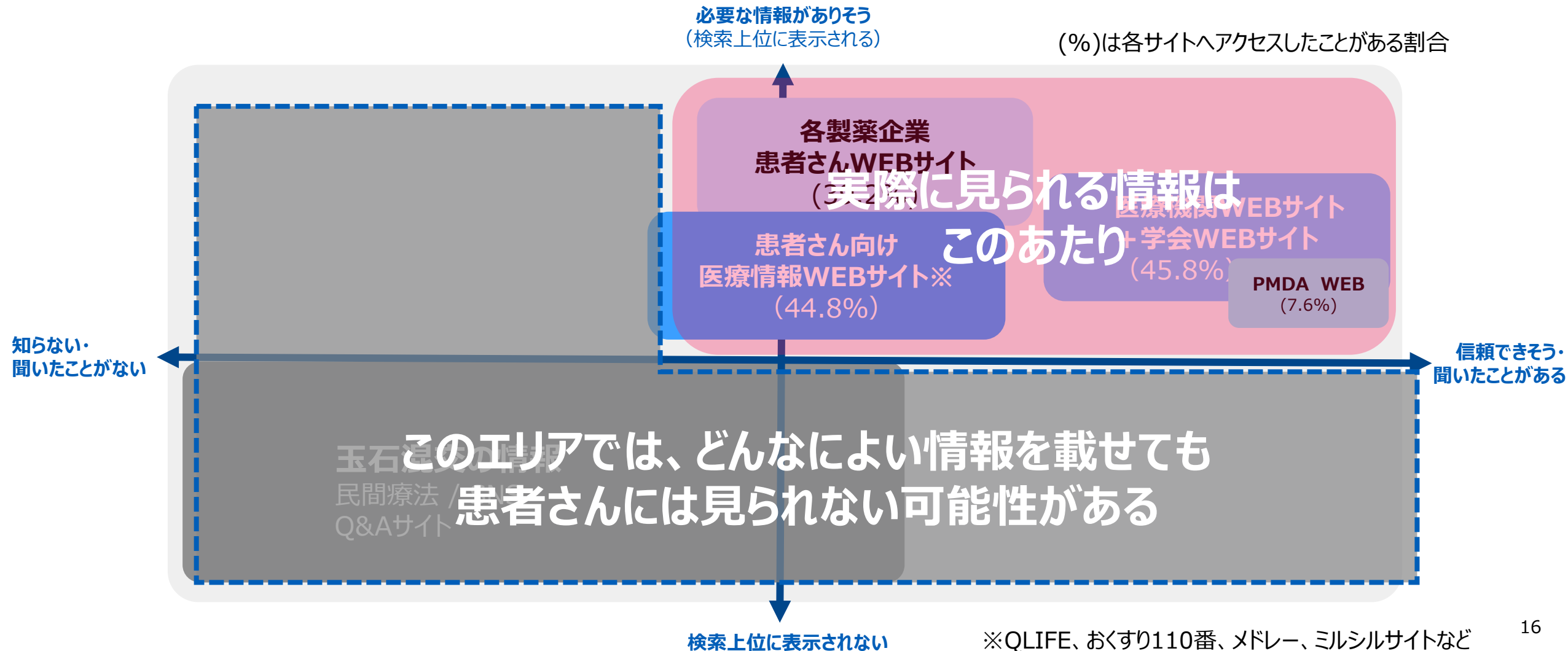
ポジショニングマップ（案）（患者さんのweb検索時）（イメージ）

これまでの結果をまとめると、以下のように図示できる（イメージ） ※一部推定含む



ポジショニングマップ（案）（患者さんのweb検索時）（イメージ）

本アンケート結果から、実際に見られるのは「検索上位にある＆信頼できそうなサイト」という点が示唆される

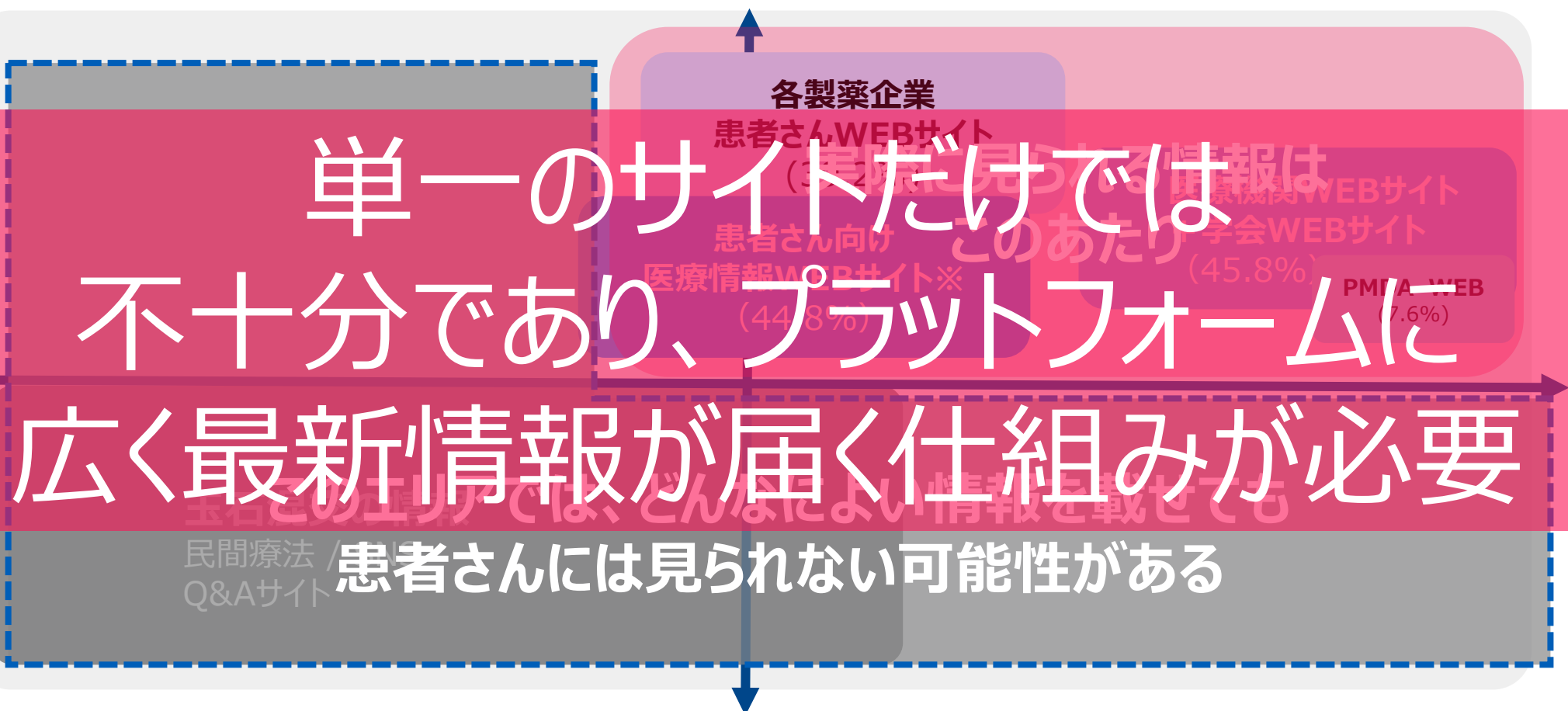


ポジショニングマップ（案）（患者さんのweb検索時）（イメージ）

複数のサイトが検索上位に表示される以上、正確な最新情報を広く届けることが重要

必要な情報がありそう
(検索上位に表示される)

(%)は各サイトへアクセスしたことがある割合



検索上位に表示されない

※QLIFE、おくすり110番、メドレー、ミルシルサイトなど

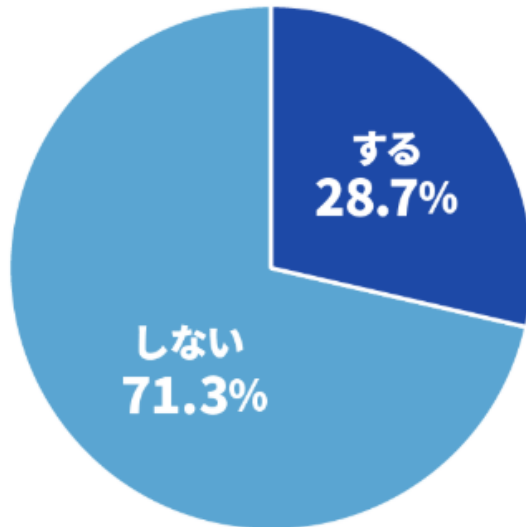
CONTENTS

1. 患者さんによる医薬品情報へのアクセス
- 2. 生成AIと検索エンジン**
3. プラットフォーム
4. まとめと今後に向けて

調べ物をする際の「生成AI」と「検索エンジン」の活用状況

2025年3月の外部調査の結果¹⁾では、調べ物をする際、生成AIを活用する割合は28.7%。
生成AIへの信頼感は検索エンジンより低いものの、一部拮抗する結果となっている。

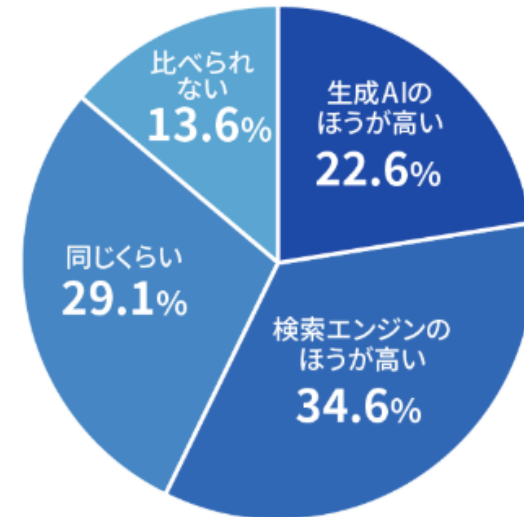
Q1:調べものをする際、生成AIを利用しますか？(n=6,602)



ナイルの
SEO相談室

生成AIの信頼度に関するアンケート調査(2025年3月25日～26日実施)

Q3:GoogleやYahoo!などの検索エンジンと比べて、
生成AIの情報に信頼感がありますか？(n=1,100)



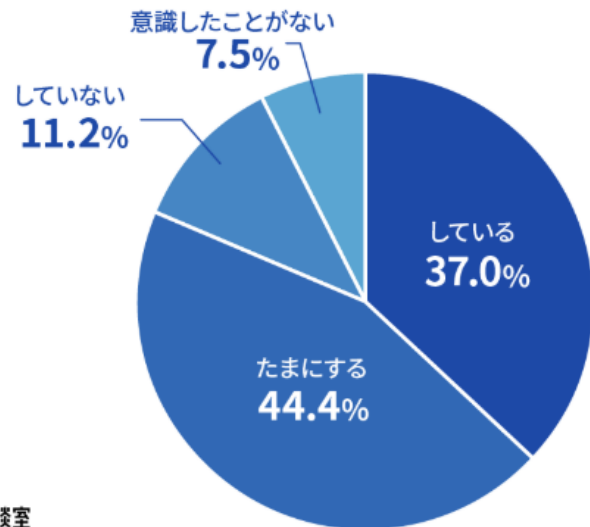
ナイルの
SEO相談室

生成AIの信頼度に関するアンケート調査(2025年3月25日～26日実施)

「生成AI」の検索結果の裏取りについて

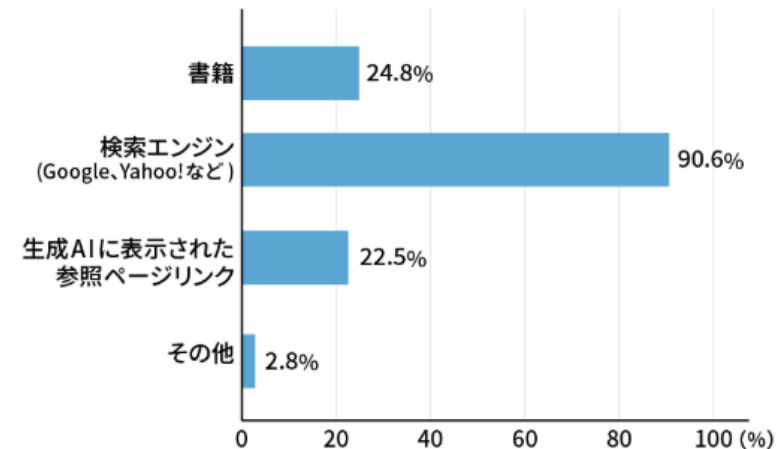
2025年3月の外部調査の結果¹⁾では、生成AI活用の際、他の情報源による裏取りをする割合は81.4%であり、そのうち90.6%が検索エンジンを活用していた

Q4: 生成AIを使う際に、他の情報源で裏取りをしていますか？
(n = 1,100)



生成AIの信頼度に関するアンケート調査(2025年3月25日～26日実施)

Q5: 生成AIの回答について、どのように裏取りしていますか？
(n=895)



生成AIの信頼度に関するアンケート調査(2025年3月25日～26日実施)

Google検索での検索結果：AIによる概要の表示

GOOGLEで「製品名 副作用」で検索すると、サイトの検索結果よりも上位に『AIによる概要』が表示される

- ・一部間違った情報や、最新ではない情報が含まれているケースがある（注釈があるが目立たない）
- ・生成AIの特性を理解していない人や、生成AIの検索結果と気づかない可能性もある



◆ AIによる概要

ルンスミオの主な副作用として、リンパ球数減少、サイトカイン放出症候群（CRS）、発疹、血球減少、注入に伴う反応などが報告されています。また、肝機能障害や神経学的事象（意識レベルの変化、痙攣発作など）も起こる可能性があります。これらの副作用は、投与中や投与後に現れることがあるため、医師の指示に従い、注意深く観察する必要があります。

ルンスミオの副作用について、より詳しく説明します。

主な副作用：

- ・ **リンパ球数減少**: 免疫機能に影響を及ぼす可能性があります。
- ・ **サイトカイン放出症候群（CRS）**: 発熱、悪寒、低血圧、頻脈、低酸素症、頭痛などの症状を引き起こす可能性があります。
- ・ **発疹**: 皮膚に発疹が現れることがあります。
- ・ **血球減少**: 白血球、赤血球、血小板などの減少が起こる可能性があります。
- ・ **注入に伴う反応**: 投与時に発熱、悪寒、吐き気、頭痛、掻痒感、発疹、咳、虚脱感などが現れることがあります。
- ・ **肝機能障害**: アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）やアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）の増加が見られることがあります。
- ・ **神経学的事象**: 意識レベルの変化、痙攣発作、書字障害、失語症、認知能力の障害、筋力低下などが現れることがあります。
- ・ **その他**: 低リン血症、低カリウム血症、低マグネシウム血症、便秘、そう痒症、高血糖、infusion reaction（注入に伴う反応）などが報告されています。

その他注意すべき点：

腫瘍崩壊症候群：

腫瘍崩壊症候群を予防するため、水分補給を十分に行う必要があります。

ルンスミオを使用する際は、これらの副作用について十分理解し、医師や薬剤師と連携しながら、安全に使用することが大切です。

これは情報提供のみを目的としています。医学的なアドバイスや診断については、専門家に相談ください。AIの回答には間違いが含まれている場合があります。

◆ AIによる概要

電子添文の重大な副作用のうち、以下が表示されていない

- ・感染症
- ・腫瘍フレア

以下の注釈が一番下に小さく記載されている。

これは情報提供のみを目的としています。医学的なアドバイスや診断については、専門家に相談ください。AIの回答には間違いが含まれている場合があります。

GOOGLEでの検索結果「ルンスミオ 副作用」（2025年6月14日アクセス）

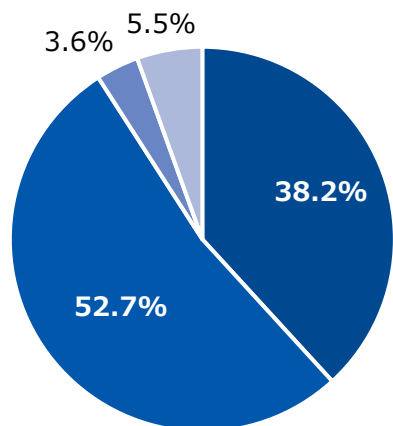
https://www.google.com/search?q=%E3%83%AB%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%9F%E3%82%AA+%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8&sca_esv=e3279a5cc9de4c92&rlz=1C1GCEA_enjP1110JP1112&ei=P4lOa17hJY2l2roP56WmmAw&ved=0ahUKWjQ_PvthfONAxWNkYBHeeSCcMQ4dUCB1&uact=5&ogq=%E3%83%AB%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%9F%E3%82%AA+%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8&gs_l=Eqxnd3Mtd2l6LXNlcniAIGeODq-ODs-OCueODn-OCqiDlia_kvZnIkgyBRAAGIAEMggQABiABBiBDIIEAAYgAQYogQyBRAAG08FMggQABiABBiBDIIEAAYgAQYogR1rxxQAFjAGnABeAGQAQCYAaoBoAHAEKoBBDaUMTS4AQPIAQD4AQGYAgggAtQKwgIGEAAygewgIIEAAYBBgHGB7CAgoQABiABBiBDIIEAAYgQYIQXCAGkQABiABBgEGCWYAwCSBwMxLjr_gB4ksgcDMC45uAFrCSiHTAuM44yAcl&scient=gws-wiz-serp

CONTENTS

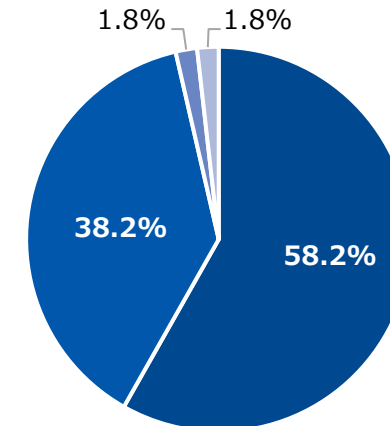
1. 患者さんによる医薬品情報へのアクセス
2. 生成AIと検索エンジン
- 3. プラットフォーム**
4. まとめと今後に向けて

製薬企業向けアンケート：プラットフォームへの情報掲載について

製薬企業向けアンケート調査¹⁾では、プラットフォームを通じた情報提供の必要性は、90.9%の企業で認識
プラットフォームの数が複数存在する中、効率的なプラットフォームの仕組みを希望する企業は96.4%



プラットフォームの例
左側：ミルシルサイト（くすりの適正使用協議会） 右側：QLIFE（エムスリーグループ）



■ はい ■ どちらかと言えば、はい ■ どちらかと言えば、いいえ ■ いいえ

Q19. (PMDA WEBサイト、ミルシルサイトに限らず)今後のプラットフォームを通じた患者さん向けの情報提供について
お伺いします。
より多くの医療関係、患者さんに必要な情報を届けるためには、プラットフォームを通じた情報提供は必要である
と思いますか。(n=55)

■ はい ■ どちらかと言えば、はい ■ どちらかと言えば、いいえ ■ いいえ

Q20. プラットフォームが複数出てきた場合、すべてに資料を掲載するのは手間が多くなることが想定されます。
同じ情報が複数のプラットフォームに掲載される効率的な仕組みがあるかと思いますが。(n=55)

くすりのしおり ミルシルサイトとは https://www.rad-ar.or.jp/siori/sioriclub/pdf/mirusiru_leaflet_220415.pdf
QLIFE <https://www.qlife.co.jp/> いずれも転載許諾取得済

PMDAのWEBサイトの利用規約

PMDAのWEBサイトの利用規約では、添付文書等の二次利用が自らが所属する医療機関、薬局等での利用に限られるため、各プラットフォーム、生成AIが参照できず、結果として最新情報が届かなくなる可能性がある

PMDA 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

× 画面を閉じる
文字
サイズ 標準 拡大 特大

添付文書等情報検索ページ(医療用医薬品)ご利用上の注意

1. お薬を使われている方へ

このウェブサイトで提供している情報は、専門的な情報が含まれていますので、これらの情報をご覧になって、使われている医薬品について疑問などを持たれた場合には、医師・歯科医師または薬剤師に必ずご相談ください。

医療用医薬品は、患者ご自身の判断で用いたり、中止したり、医薬品の用法・用量を変えたりすると危険な場合がありますので、ご注意ください。

2. 添付文書等情報検索ページの利用上の注意

当システムでは多大なトラフィックを占有して他の利用者様に迷惑になる行為を禁止しております。自動的に添付文書等を巡回ダウンロードする類のアプリケーションを、当機構では一切認めておりません。

他の利用者様が迷惑を被られている場合は該当する回線をアクセス禁止にすることもございますので、ご了承下さいませお願いいたします。

3. 添付文書等に関する注意事項

- ここで提供している情報のうち、
 - 添付文書は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の2の規定に基づき公表されているものです。
 - 医薬品リスク管理計画書(RMP)及びその関連資料並びに患者向医薬品ガイド・ワクチン接種を受ける人へのガイド、インタビューフォームについては、各製造販売業者が作成し、各製造販売業者の責任において掲載しているものです。
- 添付文書が改訂された場合、改訂された最新の添付文書を掲載するため、お手元の添付文書と内容が異なる場合があります。添付文書を確認する際は、適宜改訂年月の記載をご確認の上、最新の添付文書をご利用ください。
- 添付文書やRMP等の著作権は製造販売業者が有しているため、自らが所属する医療機関、薬局等において使用することを目的とする場合を除き、製造販売業者に無断で複製、転載、頒布する等の行為を禁じます。ここで提供している添付文書等は、医薬品等の品質、有効性及び安全性に関する情報を提供することを目的として公表されています。添付文書等を研究等に利用する場合には適宜製造販売業者に許諾を取っていただきますようお願いいたします。
- 添付文書やRMP等の内容については、各製造販売業者にお問合せ下さい。
- 添付文書やRMP等を閲覧される場合は、セキュリティの観点から最新版のブラウザでのご利用をお勧めいたします。なお、本システムでは以下のブ

添付文書やRMP等の著作権は製造販売業者が有しているため、**自らが所属する医療機関、薬局等において使用することを目的とする場合を除き、製造販売業者に無断で複製、転載、頒布する等の行為を禁じます。**

ここで提供している添付文書等は、医薬品等の品質、有効性及び安全性に関する情報を提供することを目的として公表されています。添付文書等を研究等に利用する場合には適宜製造販売業者に許諾を取っていただきますようお願いいたします。

CONTENTS

1. 患者さんによる医薬品情報へのアクセス
2. 生成AIと検索エンジン
3. プラットフォーム
- 4. まとめと今後に向けて**

まとめ①：「最新」の「正しい」医薬品情報を患者さんに届けるために

環境変化に合わせて、「必要」な「最新」の医薬品情報が、正確に伝わる仕組みが必要

医療関係者から 患者さんへの情報提供



服薬指導

以下より患者さん 向け資材を活用

- ✓ 電子カルテ/レセコン
- ✓ 製薬企業（MR/WEB）
- ✓ 各WEBサイト
PMDA/ミルシル/その他

患者さんのWeb検索



在宅時

患者さんは、特定のサ イトよりも検索エンジ ンを活用（現在）

- ✓ 検索上位のサイト
- ✓ 信頼できそうな（聞いたことが
ある）サイト

生成AIの活用



今後、生成AIの活 用者の増加が想定

- ✓ 生成AIの普及
- ✓ GOOGLEの仕様変更で
知らず知らずに生成AIを
活用

まとめ②：「最新」の「正しい」医薬品情報を患者さんに届けるために

公的なプラットフォームを通じ、最新情報が各プラットフォームでアクセスできる仕組みを産官学で検討していきたい

対応の方向性（案）
（イメージ）



各製薬企業



各種資材の掲載
（従来通り）

電子的な添付文書

RMP

RMP資材
（医療者向け）

患者向医薬品ガイド

くすりのしおり

RMP資材
（患者向け）

PMDAなどの公的なプラットフォーム

PMDA

利用規約の変更

展開しやすい仕組み

常に最新情報が反映

各医療サイト

検索エンジン

GOOGLE、YAHOO、
BINGなど

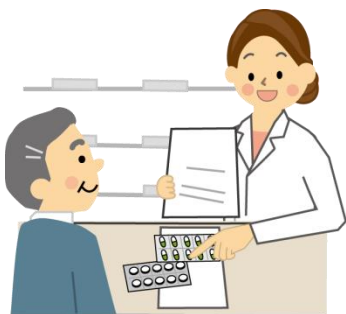
生成AI

◆ AI による概要

各電子カルテ
レセコン

各患者サイト

QLIFE、おくすり110番、
メドレー、ミルシルサイトなど



ご清聴ありがとうございました

本日のスライドは後日製薬協のWEBサイトで公開予定です

6. DX関連（電子的な情報提供等）



製薬協

PVナビ

ホワイトブック（その他ガイダンス等）

Ⅰ アンケート結果（全般）

- ① 電子的な情報提供に関するアンケート結果-製薬協参加企業の動向-（2023年1月実施）

Ⅱ アンケート結果（医療従事者向け情報提供）

- ① 医薬品の安全性情報に関する医療従事者のニーズ把握調査（医師、薬剤師）-速報- 2023年5月実施

Ⅲ アンケート結果（患者さん向け情報提供）

- ① 患者さん及びご家族の医薬品情報の入手に関する実態調査 -速報-（2024年2月実施）
- ② デジタルを用いた患者さん向け情報提供に関するアンケート結果（PV部会参加企業 2023年1-2月実施）
- ③ 「くすり」と製薬産業に関する生涯意識調査！報告書 広報委員会



PVナビで検索

インターネット調べる場合の最初のアクション（医師）

医師がインターネットで安全性情報を調べる際の最初のアクションとして、「まずは検索エンジンで検索する（60-100%）」人が43%と、特定のサイトにアクセスする人の34%と比べやや多かった。

医師

医薬品の安全性情報をインターネットで調べる場合の最初のアクション

0% 20% 40% 60% 80% 100%

まずは検索
エンジンで
検索する

医師 全体 n=252



特定のサイ
トにアクセ
スする。

- ①がほとんど (①が80-100%/②が0-20%)
- どちらかという①が多い (①が60-80%/②が20-40%)
- ①、②ともに同程度 (①が40-60%/②が40-60%)
- どちらかという②が多い (①が20-40%/②が60-80%)
- ②が大部分 (①が0-20%/②が80-100%)

<提示資料>

①まずは検索エンジンで検索

②まずは特定のサイトへアクセス

Q26. 医薬品の安全性に関する情報（副作用）をインターネットで調べる場合、一番最初のアクションとしてはどちらの方法が近いですか？

インターネット調べる場合の最初のアクション（薬剤師）

薬剤師がインターネットで安全性情報を調べる際の最初のアクションとして、「特定のサイトにアクセスする」人が54%であり、「まずは検索エンジンで検索する（60-100%）」人の31%と比べやや多かった。

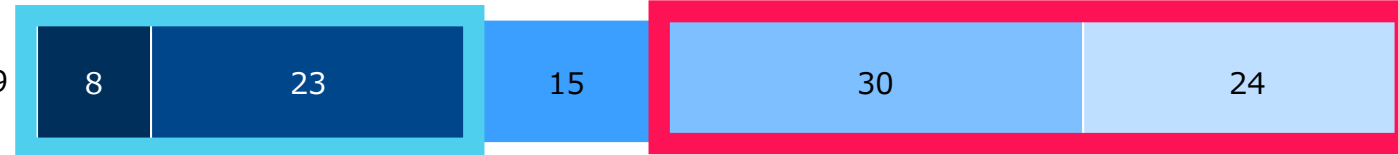
薬剤師

医薬品の安全性情報をインターネットで調べる場合の最初のアクション

0% 20% 40% 60% 80% 100%

まずは検索
エンジンで
検索する

薬剤師 全体 n=109



特定のサイ
トにアクセ
スする。

- ①がほとんど (①が80-100%/②が0-20%)
- どちらかという①が多い (①が60-80%/②が20-40%)
- ①、②ともに同程度 (①が40-60%/②が40-60%)
- どちらかという②が多い (①が20-40%/②が60-80%)
- ②が大部分 (①が0-20%/②が80-100%)

<提示資料>

①まずは検索エンジンで検索

②まずは特定のサイトへアクセス

Q26. 医薬品の安全性に関する情報（副作用）をインターネットで調べる場合、一番最初のアクションとしてはどちらの方法が近いですか？

作成担当／編集

本資料の内容を無断で転載することを禁じます

リーダー兼担当副会長 拡大幹事

竹本 信也	(中外製薬株式会社)
北川 南都子	(日本イーライリリー株式会社)
篠田 好果	(ノバルティス ファーマ株式会社)

野口 正浩	(アステラス製薬株式会社)
奥平 可奈子	(エーザイ株式会社)
富島 さやか	(大塚製薬株式会社)
安東 亜希子	(グラクソ・スミスクライン株式会社)
原田 郁子	(住友ファーマ株式会社)
水田 藍	(千寿製薬株式会社)

中西 晋平	(中外製薬株式会社)
谷口 圭一	(鳥居薬品株式会社)
田中 佐千代	(日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)
隅谷 真依	(ファイザー株式会社)
海野 一郎	(マルホ株式会社)
森田 愛子	(Meiji Seika ファルマ株式会社)

令和7年7月発行

編集

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 ファーマコビジランス部会 TF1 (DXを活用したリスクコミュニケーション)
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11 (日本橋ライフサイエンスビルディング)

TEL : 03-3241-0326

FAX : 03-3242-1767